

Via Latina 22



総本部よりのお知らせ - マリア会

2016年5月
251号

インド従属地区での初誓願式

インド従属地区(U.S.A.)は、2016年5月1日、日曜日に、コーランビのNirmal Deep 修練院で行われたブラザーたちの初誓願を皆さんと共に喜びたいと思います。誓願者は次の7名です：George Soreng, Issac Minj, Kuldeep Kujur, Livens Peter Xalxo, Mathew Mullangi, Naiman Kerketta そしてVictor Xaxa.

ミサ聖祭に続いて兄弟的食事がなされてから、インドの文化的な催しものが行われました。

新しい私たちの兄弟の皆さんに、おめでとう！を申し上げます。



後列(左→右): Mathew, Victor and Isaac.
前列(左→右): Naiman, Livens Peter, George and Kuldeep.

尊者アデル・ド・ランケレオンの列福調査



列福調査に関する教皇庁医学審議会は、5月12日に、メール・アデルの執り成しによると言われている汚れなきマリア修道会のシスター Michela Mesina の治癒が医学的に説明できるかどうかを判断するために、その証拠を審査します。

1977年に、シスター Michela は卵巣腫瘍で苦しんでいました。彼女の家族、友人たち、そして汚れなきマリア修道会のシスターたちは彼女の病気治癒のために尊者アデルに祈りました。シスター Michela は外科手術を受けましたが、転移があったかどうかに関しては医学的問題点が残りました。移転があったとすれば、彼女の延命の可能性は大変薄いものでした。

2013年にこの列福調査はノヴァラ教区にて開始され、2014年に教皇庁列聖省まできました。教会法上の教区の手続きの有効性も認められて受理され、様々な医学的検証がなされた後、医学審議会に提出する書類(Summarium)が準備されました。

“恵みの仲介者である聖なるおとめマリア”の典礼記念日である5月12日は、メール・アデルの列福調査がうまく行くように、私たちがマリア様に重要なお恵みを祈願するに素晴らしい機会です。

総長評議員会、東アフリカ地区を訪問

総長評議員会の4名のメンバーは、最近、東アフリカ地区の20日間に及ぶ訪問を終えました。3か国(ケニア、ザンビア、マラウイ)に及ぶこの地区は、54名の修道者を有しています。彼らの仕事は、小学校、中学校、トレーニングセンター、および女性や家庭のための社会奉仕センターの運営です。また、3つの養成所に加え、東アフリカマリアニスト養成センターがあります。

総長評議員会は、東アフリカに於けるマリア会発足50周年を各地で祝う栄誉をいただきました。これは特別な喜びと感謝の時であり、またこの地域におけるマリアの使命に対する献身を新たにする時でもありました。



ケニアのナイロビの式典でプレゼントを
いただくマヌエル総長



ザンビアのルサカの式典で
児童たちと一緒にいるマイケル士



マラウイのカロンガのマリアニスト共同体
の入り口

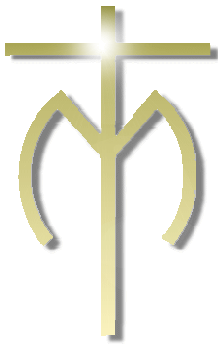


ザンビアのルサカの式典で
生徒たちと一緒にいるマックス士



ケニアのモンバサでマリアニスト開発プロジェクト
(ケータリング部)の生徒たちと一緒にいるアンドレ師

マリアニスト資料活用のWEBSITE



www.mundomarianista.orgは、マリアニストのテーマに関してスペイン語、フランス語、英語で皆さんに記事や講話録を提供しているウェブサイトです。

これはLorenzo Amigo師によって編集されています。最近掲載されたものは、2014年4月に開催された初めてのヨーロッパのマリアニスト・シンポジウムからの資料です。その内容は、“創立者の教えとマリア会の歴史における信仰の役割”に関するものであり、次の会員たちの実のある記事が記載されています: José Ramón García-Murga, Antonio Gascón, Emilio Cárdenas, Juan Manuel Rueda, Lorenzo Amigo, Eddie Alexandre, Ermenegildo SaglioそしてPhilippe Hue.

フランス語に翻訳されたDavid Fleming 師の記事も最近そこに掲載されました。

総本部の来客ニュース

- ❖ 南カリフォルニア大学の高等カトリック研究所の所長であるJames Heft師は、2016年4月15日～16日までバチカンにて教皇庁社会科学研究所と共同で、聖ヨハネパウロ2世の回勅『新しい課題: 教会と社会の百年をふりかえって』(Centesimus Annus)発行25周年についての会議を開催しました。
- ❖ アメリカ管区の霊生部長であるBill Meyer師は、4月19日～25日まで神学校共同体を訪問しました。このような訪問によって行政単位は神学生の養成についてより直接的に理解することができ、養成者と神学生はそれぞれの行政単位の現状について意識を保つようにしてくれるので、このような訪問は養成者と神学生にとって大変価値があります。
- ❖ 4月26日～28日まで、聖十字架教皇庁立大学はカトリック教会広報省の2年に一度の専門セミナーを開催しました。スペイン管区のDaniel Pajuelo師は、自分もその創始者の一人であるiMission計画の他の5名のメンバーと共にこの会議に参加しました。iMissionはデジタルの世界で福音化への呼びかけに答えるよう努めています。

メールアドレスの変更

- **Fr. Antonio Pacheco Jiménez (ES):**
antonio.pacheco@gnosys.org
- **N'da Claude Bla (FR-IV):**
claudebla16@gmail.com
- **Comunidad de Vertientes (ES-Cuba):**
marianistasc@arzobispadocamaquey.com



総本部 最近の通信

- 訃報: # 8-11.

総本部日程

- **5月3日～9日:** 総本部教育局Max Magnan局長はペルーのリマで開催されるラテンアメリカ教育会議に出席
- **5月13日～15日:** 総長評議員会はフランス、アジャンでの汚れなきマリア修道会創設200年祭式典に出席

